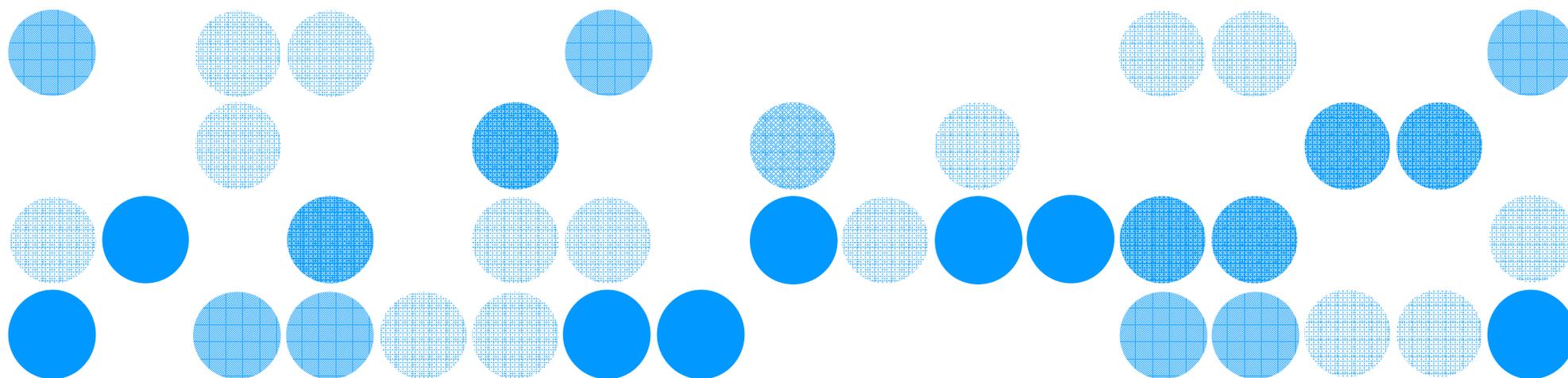
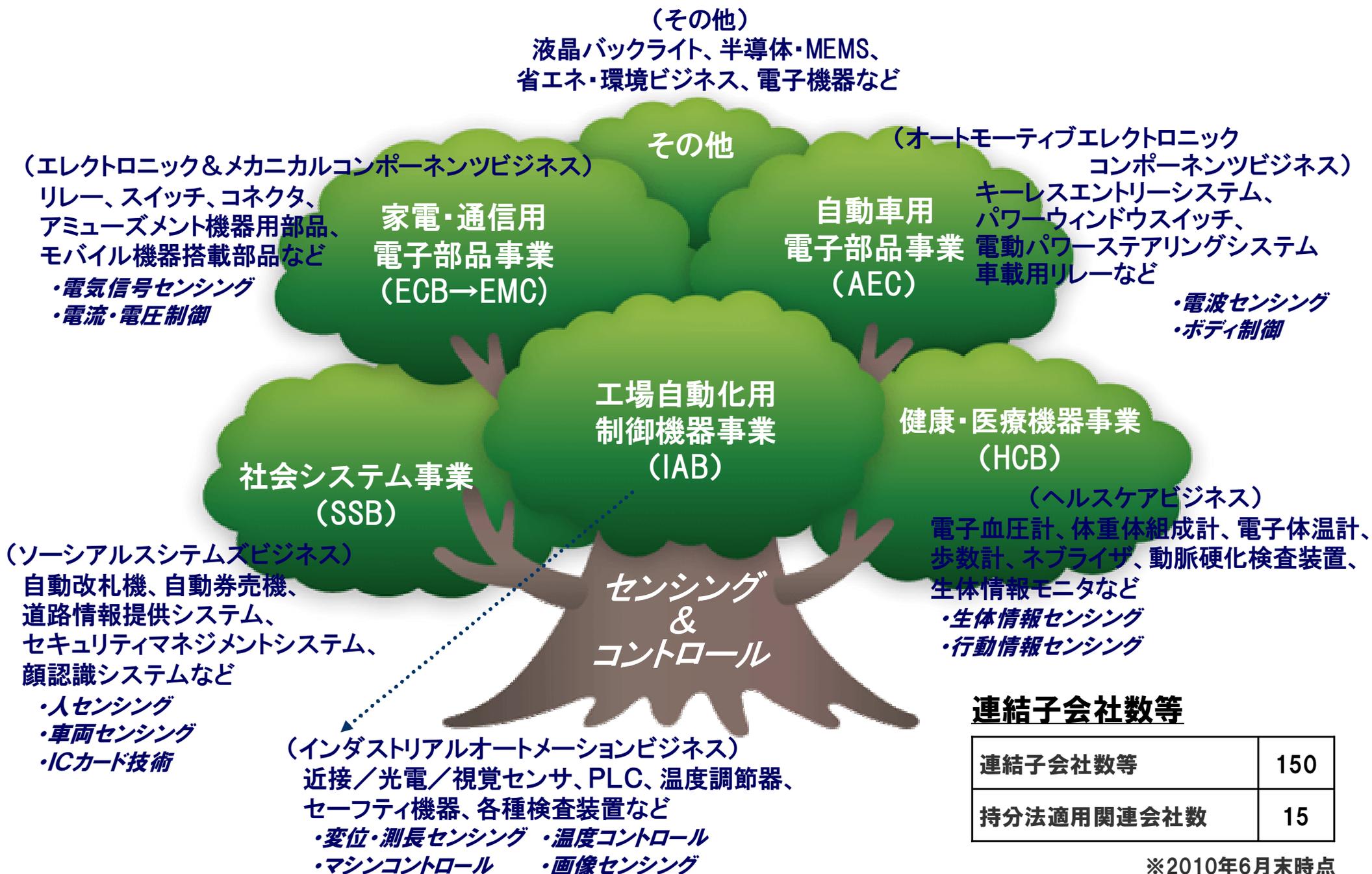


平成23年(2011年)3月期
第1四半期決算
投資家様向け説明会



2010年7月28日

オムロン株式会社



連結子会社数等

連結子会社数等	150
持分法適用関連会社数	15

※2010年6月末時点

エグゼクティブ・サマリー	P.4
2011年3月期第1四半期決算報告	P.6
2011年3月期見通し	P.28
中国の状況(IAB)	P.38
ご参考資料	P.43

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2011年3月期 第1四半期 決算とポイント

- 売上高は、製造業の設備投資環境の回復等を受けて前年同期比で約37%の増収
- 利益は、売上増及び継続的な構造改革の成果と固定費の効率的運営により大幅増益

(連結業績)	2011年3月期 1Q実績	2010年3月期 1Q実績	前年同期比
売上高	1,470億円	1,069億円	+37.4%
営業利益	111億円	△102億円	—
税前利益	107億円	△109億円	—
四半期純利益 (当社株主に帰属する)	64億円	△77億円	—
※第1四半期の為替レート実績	USD・・・91.5円、EUR・・・116.9円 (前年同期実績 USD・・・96.8円、EUR・・・131.5円)		

2011年3月期 第2四半期累計・通期業績見通しとポイント

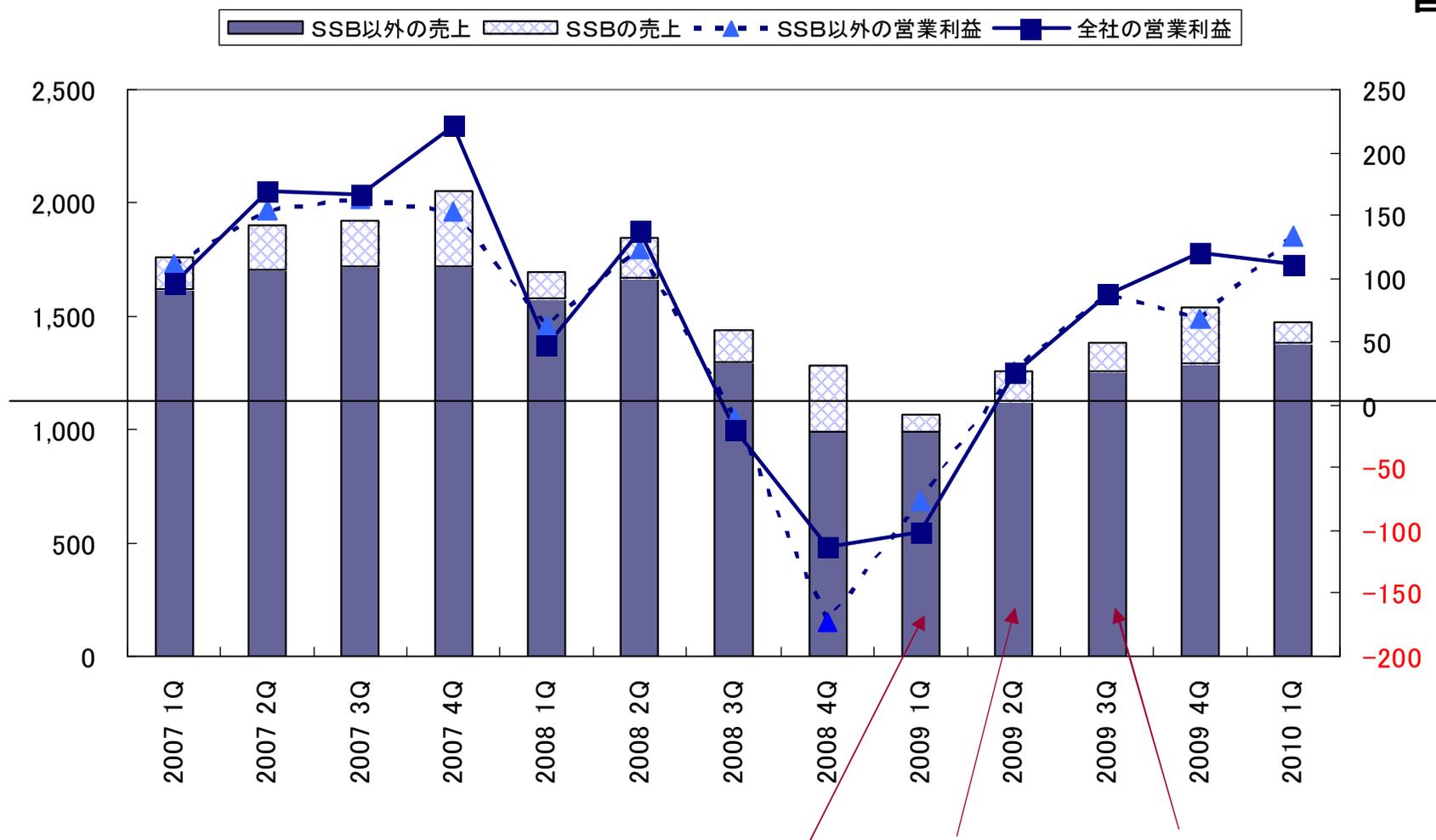
- 第2四半期以降も需要は堅調に推移すると予想し、売上、利益ともに期初計画を上方修正

(連結業績)	2011年3月期 第2四半期累計		2011年3月期 通期	
	修正後予想	期初計画	修正後予想	期初計画
売上高	3,000億円	2,680億円	6,150億円	5,800億円
営業利益	220億円 ←	110億円	460億円 ←	330億円
税前利益	210億円	115億円	445億円	330億円
当期純利益 (当社株主に帰属する)	135億円	70億円	295億円	200億円

※第2四半期以降の為替レート前提 USD・・・85円、EUR・・・110円 (期初計画 USD・・・90円、EUR・・・125円)

売上高

(億円)
営業利益



※FY2007の数値は、組替による変更を行っておりません

電子部品
事業回復

車載事業
回復

国内FA事業
回復

エグゼクティブ・サマリー	P.4
2011年3月期第1四半期決算報告	P.6
2011年3月期見通し	P.28
中国の状況(IAB)	P.38
ご参考資料	P.43

- 売上高は、製造業の設備投資環境の回復等を受けて前年同期比で約37%の増収
- 利益は、売上増及び継続的な構造改革の成果と固定費の効率的運営により大幅増益

全社PL	(億円)		
	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
売上高	1,470	1,069	+37.4%
売上総利益	561	322	+74.2%
販管費	355	333	+6.6%
R&D費	95	91	+3.9%
営業利益	111	△102	—
営業外費用	5	7	△33.0%
税引前当期純利益	107	△109	—
当期純利益	64	△77	—
			前年同期差
USDレート (円)	91.5	96.8	△5.3
EURレート (円)	116.9	131.5	△14.6

- ▶ 全セグメントで前年同期を上回る
- ▶ 特に、主力の制御3事業(IAB・EMC・AEC)の回復が著しい

(億円)

セグメント別	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	695	426	+63.2%
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	200	159	+26.1%
自動車用電子部品事業 (AEC)	216	139	+55.7%
社会システム事業 (SSB)	87	80	+9.0%
健康・医療機器事業 (HCB)	148	142	+4.2%
その他	107	101	+5.5%
消去調整他	17	22	△28.5%
合計	1,470	1,069	+37.4%

▶主力の制御3事業(IAB・EMC・AEC)が前期を大幅に上回る

セグメント別	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比	(億円)
				(参考情報) 経営指導料等改定前 2011/3期 1Q実績
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	115	△29	-	123
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	32	△8	-	35
自動車用電子部品事業 (AEC)	13	△10	-	15
社会システム事業 (SSB)	△23	△26	-	△20
健康・医療機器事業 (HCB)	14	16	△17.6%	16
その他	△21	△24	-	△20
消去調整他	△19	△23	-	△38
合計	111	△102	-	111

※選択と集中を強化し、戦略的な資源配分を実行するために本社に資金を集中させる目的で、当期より子会社および事業部門との経営指導料等の改定を実施しています

▶新興国を中心に各地域で売上高が回復し、営業利益も回復

(億円)

所在地別	売上高			営業利益		
	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年 同期比	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年 同期比
国内	696	513	+35.6%	61	△91	-
北米	184	132	+38.8%	5	△9	-
欧州	216	177	+21.8%	8	1	+494.0%
中華圏	242	167	+44.8%	35	10	+254.6%
東南アジア他	132	79	+66.9%	18	4	+329.7%
消去又は全社	-	-	-	△16	△17	-
合計	1,470	1,069	+37.4%	111	△102	-

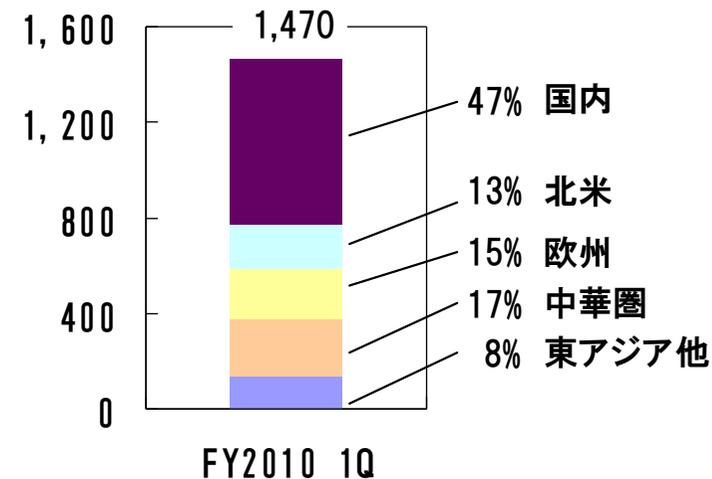
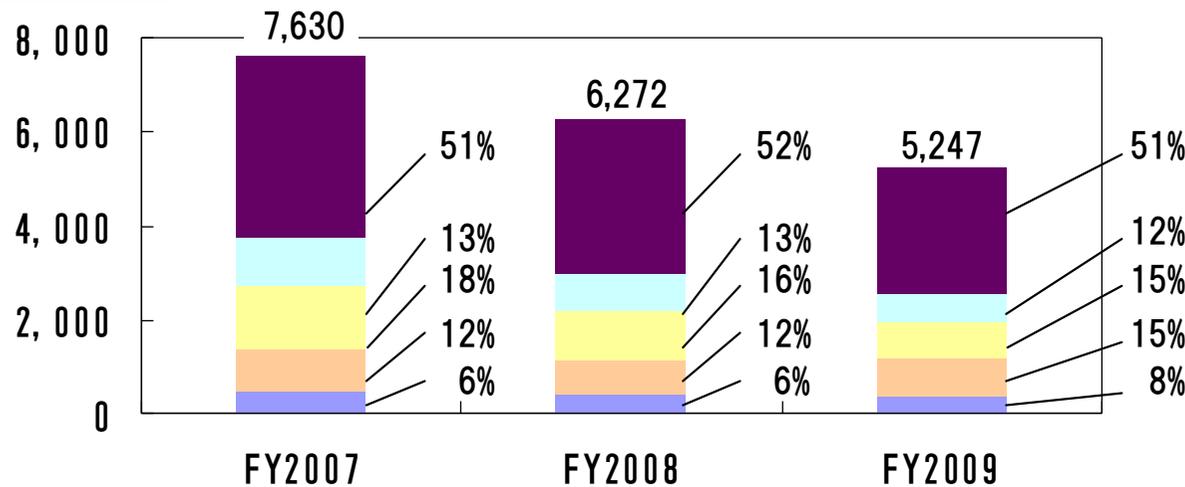
※所在地別においては、直接貿易は国内に含まれます

連結売上高・営業利益推移(所在地別)

➤売上高・営業利益ともに、中華圏やアジアなどの新興国の比率が増加

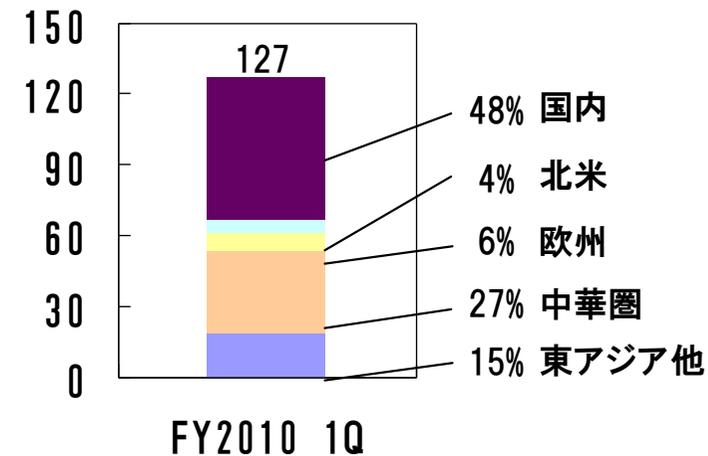
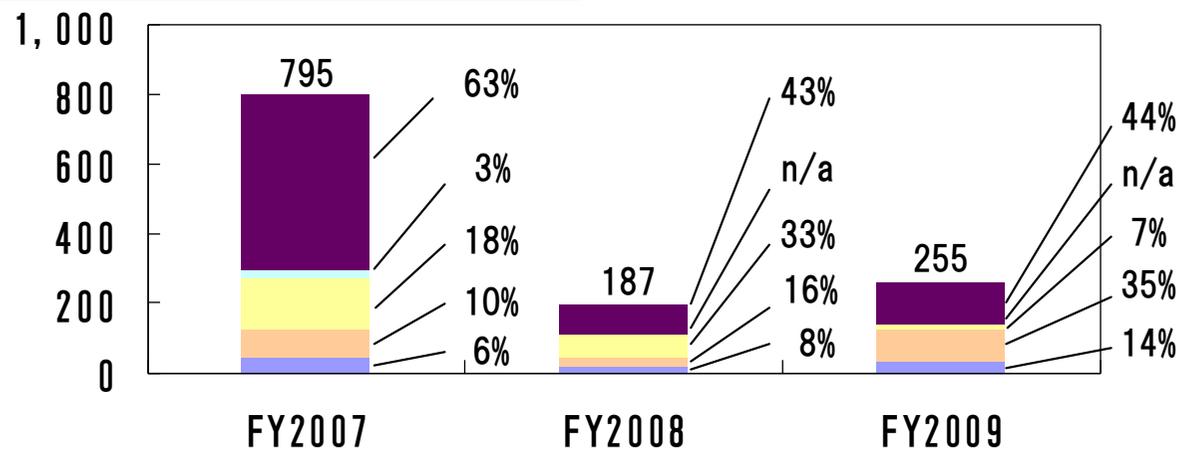
売上高

(億円)



※グラフ中の%は構成比

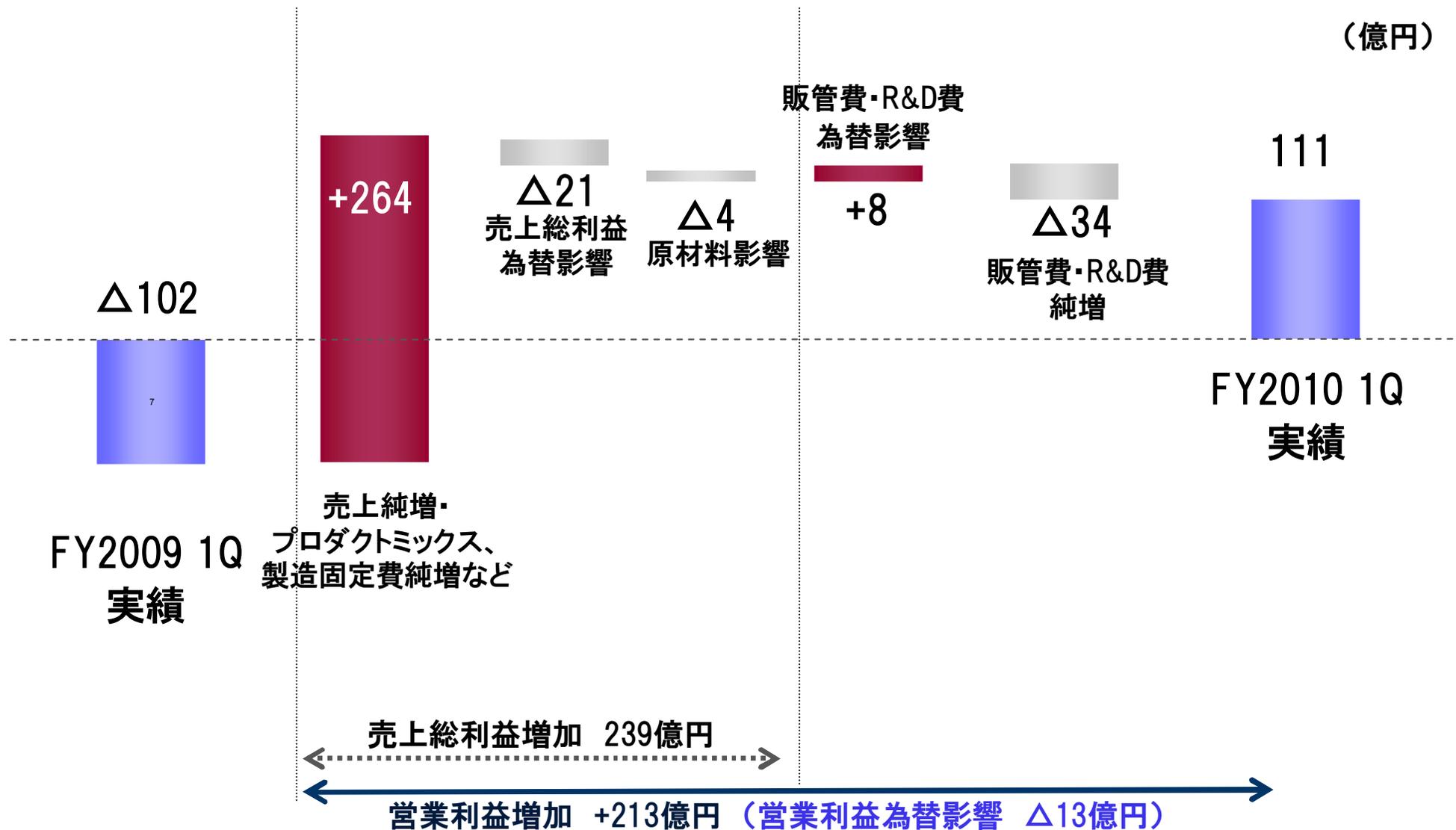
営業利益(「消去又は全社」を除く)



※グラフ中の%は構成比。ただし、FY2008とFY2009の北米はマイナスのため、計算に含まない

連結営業利益差異分析(前期比)

➤ 為替や原材料のマイナス影響はあるものの、売上増による利益増加



- 国内では、前期後半から堅調に推移した電子部品・半導体業界の設備装置需要の回復等が継続
- 海外では、中国・アジアなどの新興国において、設備投資が増加し成長を続けている
- 売上増と固定費の効率的運営により営業利益は大幅増

IAB売上高	(億円)		
	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
国内	317	176	+80.3%
海外	378	250	+51.2%
北米	61	49	+24.6%
欧州	147	121	+21.0%
アジア	64	30	+114.9%
中華圏	104	49	+112.2%
直接貿易	2	1	+132.9%
合計	695	426	+63.2%
営業利益	115	△29	—
営業利益率	16.6%	—	—

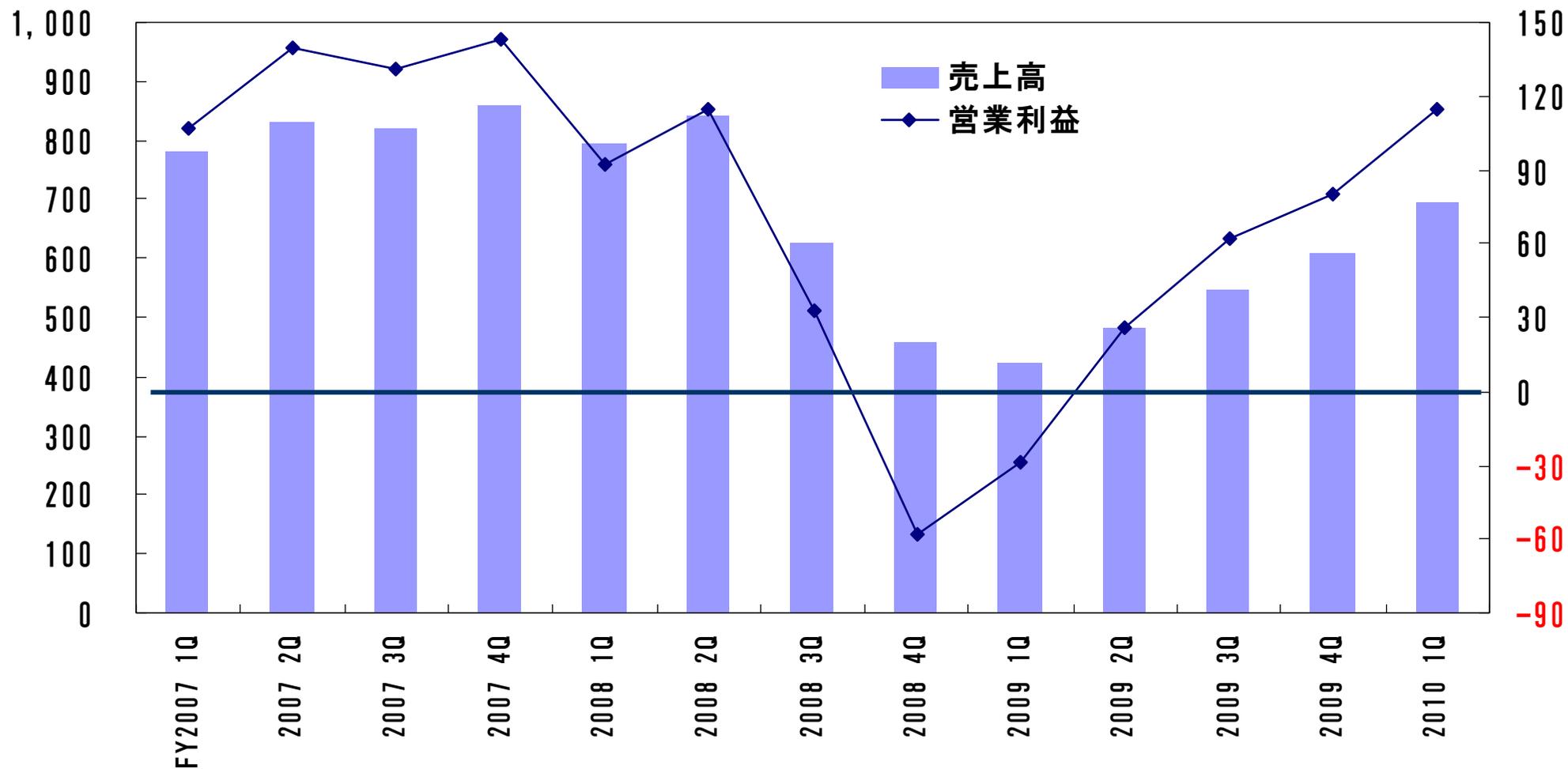


工場自動化用制御機器事業(IAB) / 売上高・営業利益推移

(億円)

売上高

営業利益



※FY2007の数値は、組替による変更を行っておりません

- ▶ 業務・民生用機器・車載部品業界を取り巻く環境は、中国をはじめとする新興国での需要拡大が続く
- ▶ 中国及び東南アジアにおいては家電向け商品を中心に売上高は堅調に推移
- ▶ 売上増と構造改革の成果等により営業利益が大幅改善

EMC売上高	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	(億円) 前年同期比
国内	* 57	51	+12.3%
海外	143	108	+32.5%
北米	* 33	14	+132.2%
欧州	33	28	+18.7%
アジア	23	17	+39.1%
中華圏	50	44	+13.0%
直接貿易	4	6	△23.1%
合計	200	159	+26.1%
営業利益	32	△8	—
営業利益率	16.0%	—	—

*国内・北米のリレー事業の一部をAECより移管

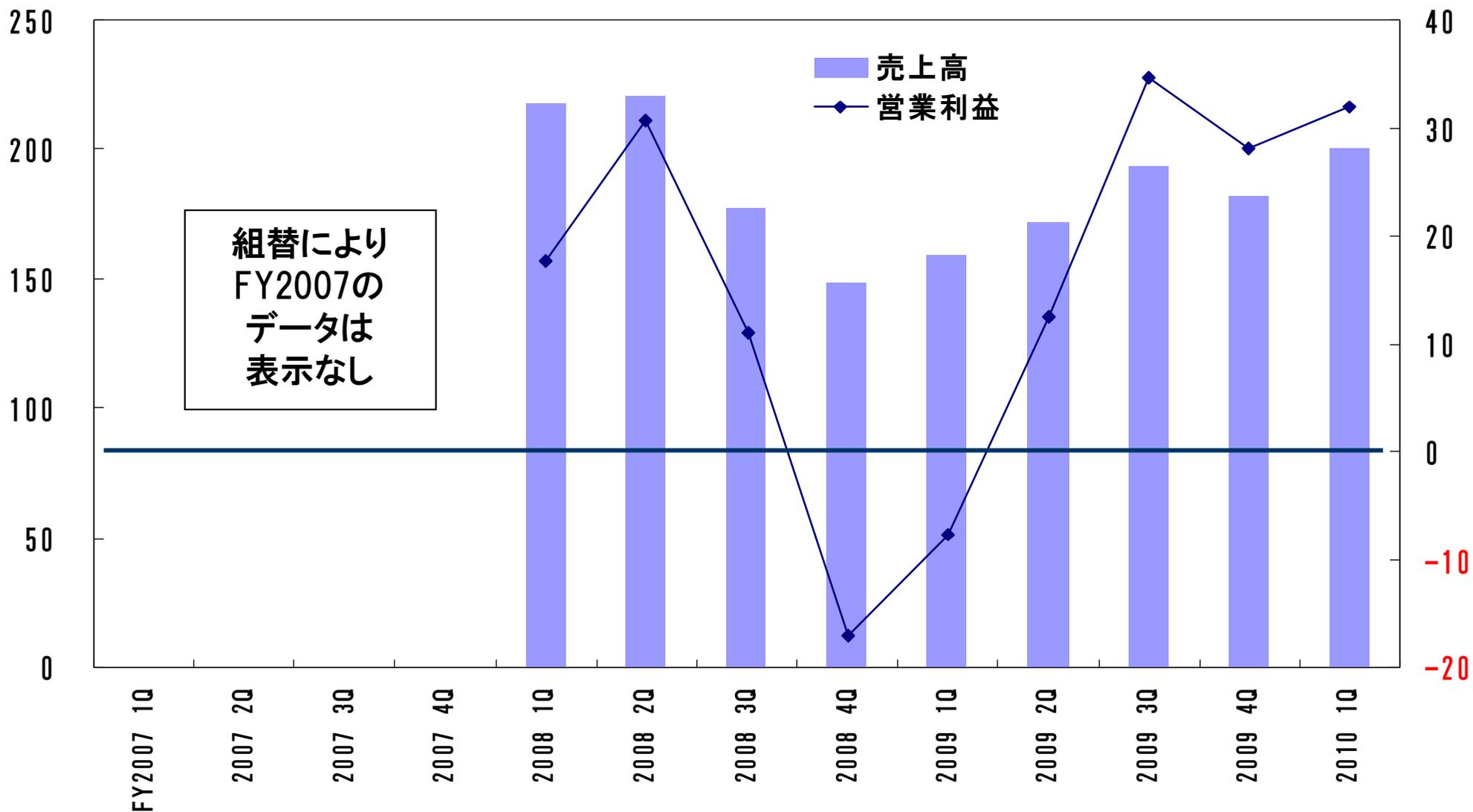


家電・通信用電子部品事業(EMC) / 売上高・営業利益推移

(億円)

売上高

営業利益



- 国内では、エコカー減税等の新車購入支援制度が継続するなか売上高は好調に推移
- 海外では、主力市場である北米の主要顧客の自動車生産は堅調な水準を継続
- 構造改革等により営業利益は大幅に改善し、2010/3期第2四半期より黒字が継続

AEC売上高	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	(億円) 前年同期比
国内	* 69	42	+64.4%
海外	147	97	+51.9%
北米	* 63	43	+46.9%
欧州	6	4	+56.2%
アジア	37	27	+35.4%
中華圏	20	12	+69.6%
直接貿易	20	10	+93.4%
合計	216	139	+55.7%
営業利益	13	△10	—
営業利益率	6.2%	—	—

*国内・北米のリレー事業の一部をEMCへ移管

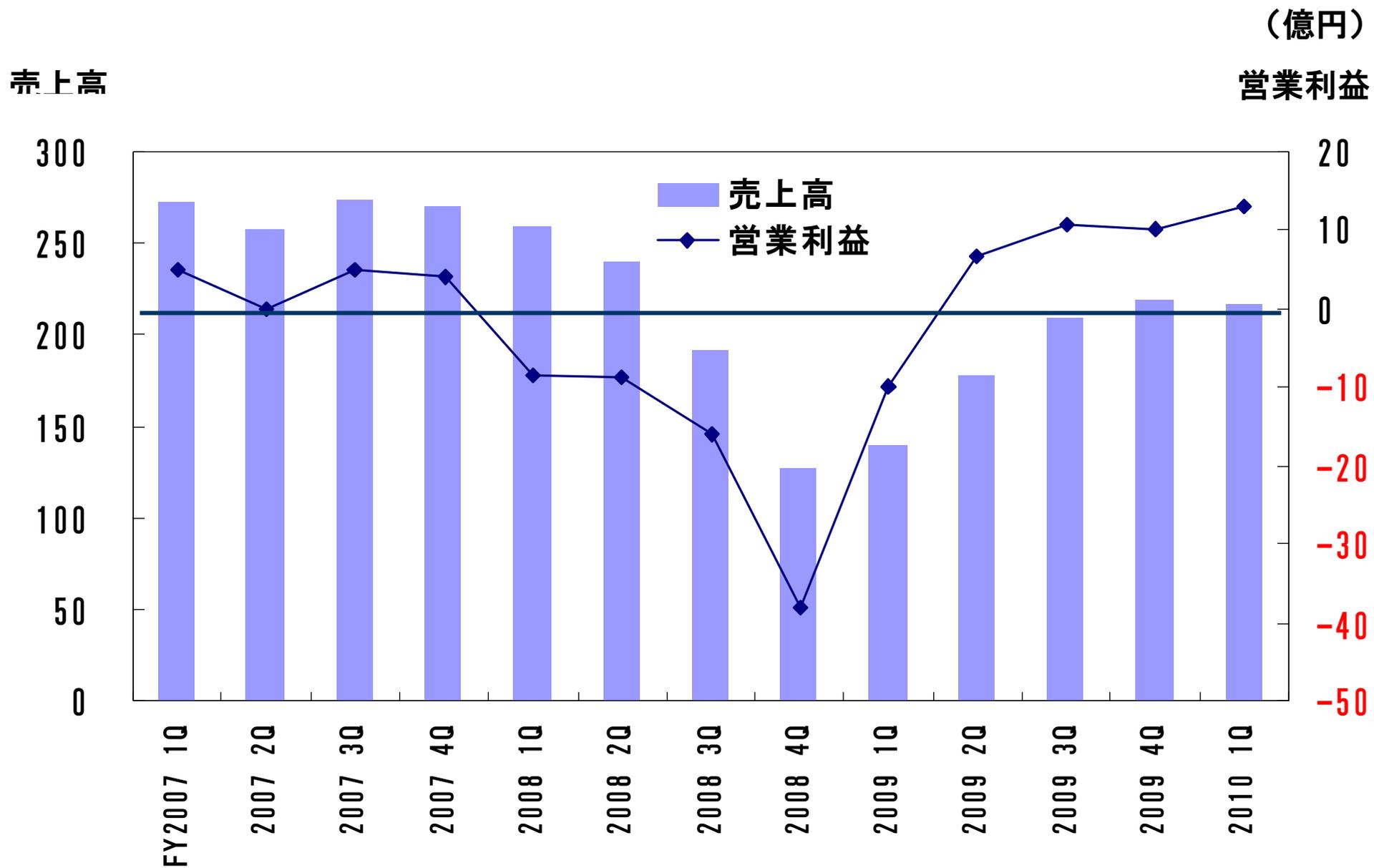


パッシブエントリーシステム



電動パワーステアリング
コントローラ

自動車用電子部品事業(AEC) / 売上高・営業利益推移



- 駅務システム事業では、新駅開業等による新型機器へ需要もあり堅調に推移
- 関連メンテナンス事業では、政府の購入補助政策による太陽光発電関連商品の需要拡大等あり

(億円)

SSB売上高	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
国内	87	80	+8.8%
海外	0	0	+119.5%
北米	0	0	—
欧州	0	0	—
アジア	0	0	—
中華圏	0	0	—
直接貿易	0	0	—
合計	87	80	+9.0%
営業利益	△23	△26	—
営業利益率	—	—	—

自動改札機



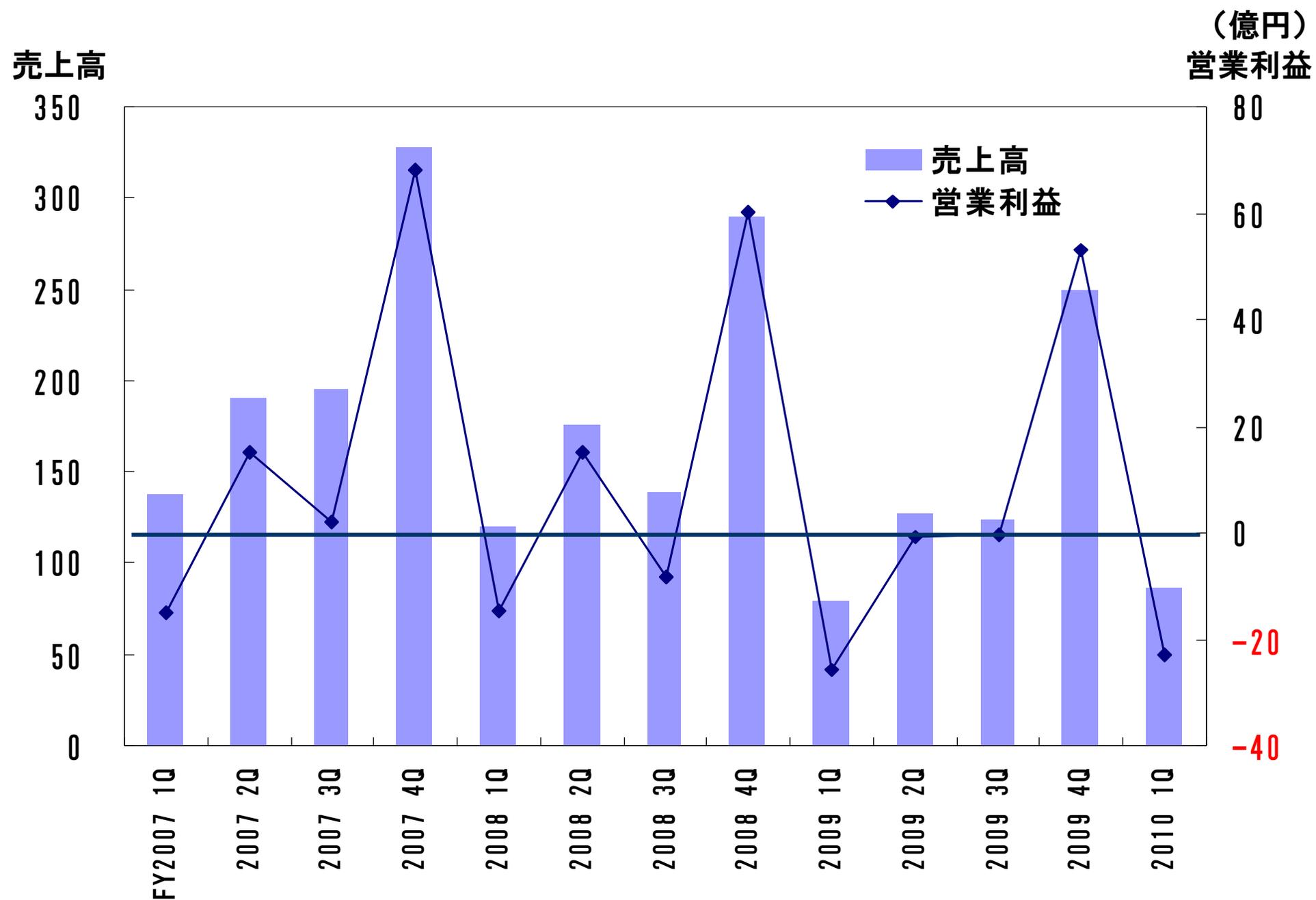
交通管制システム



セキュリティシステム



社会システム事業(SSB) / 売上高・営業利益推移



- ▶国内では、前年の体温計特需減の影響があるもののTVコマーシャルなどの営業施策により回復基調
- ▶海外では、アジア・中華圏・ロシアなどの新興国においては健康管理意識の高まりにより、引き続き当社製品の需要が高まっている

HCB売上高	(億円)		
	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
国内	62	68	△8.6%
海外	86	75	+16.0%
北米	26	25	+3.8%
欧州	30	25	+20.8%
アジア	8	5	+39.0%
中華圏	20	18	+14.5%
直接貿易	2	1	+93.8%
合計	148	142	+4.2%
			前期比・差
営業利益	14	16	△17.6%
営業利益率	9.1%	11.6%	△2.5P



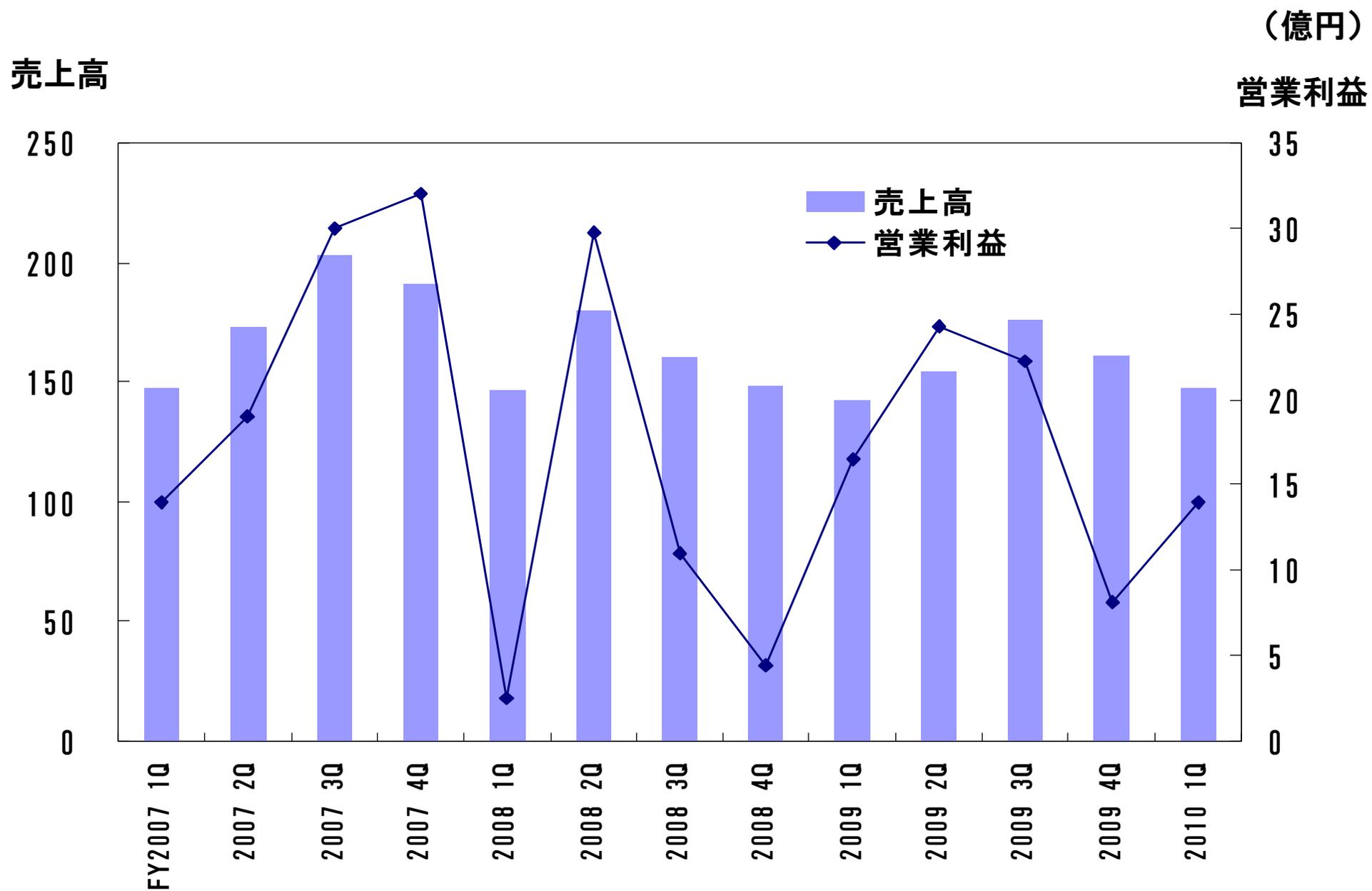
デジタル自動血圧計



体重体組成計



血圧脈波検査装置



▶ 新規事業として、探索・育成を継続する事業をその他セグメントにて表記

(億円)

その他売上高	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
国内	58	55	+4.6%
海外	49	46	+6.5%
北米	0	0	—
欧州	0	0	—
アジア	0	0	—
中華圏	45	43	+4.8%
直接貿易	3	2	+35.7%
合計	107	101	+5.5%
営業利益	△21	△24	—
営業利益率	—	—	—



小型液晶用バックライト



MEMSアコースティックセンサ



e-watching



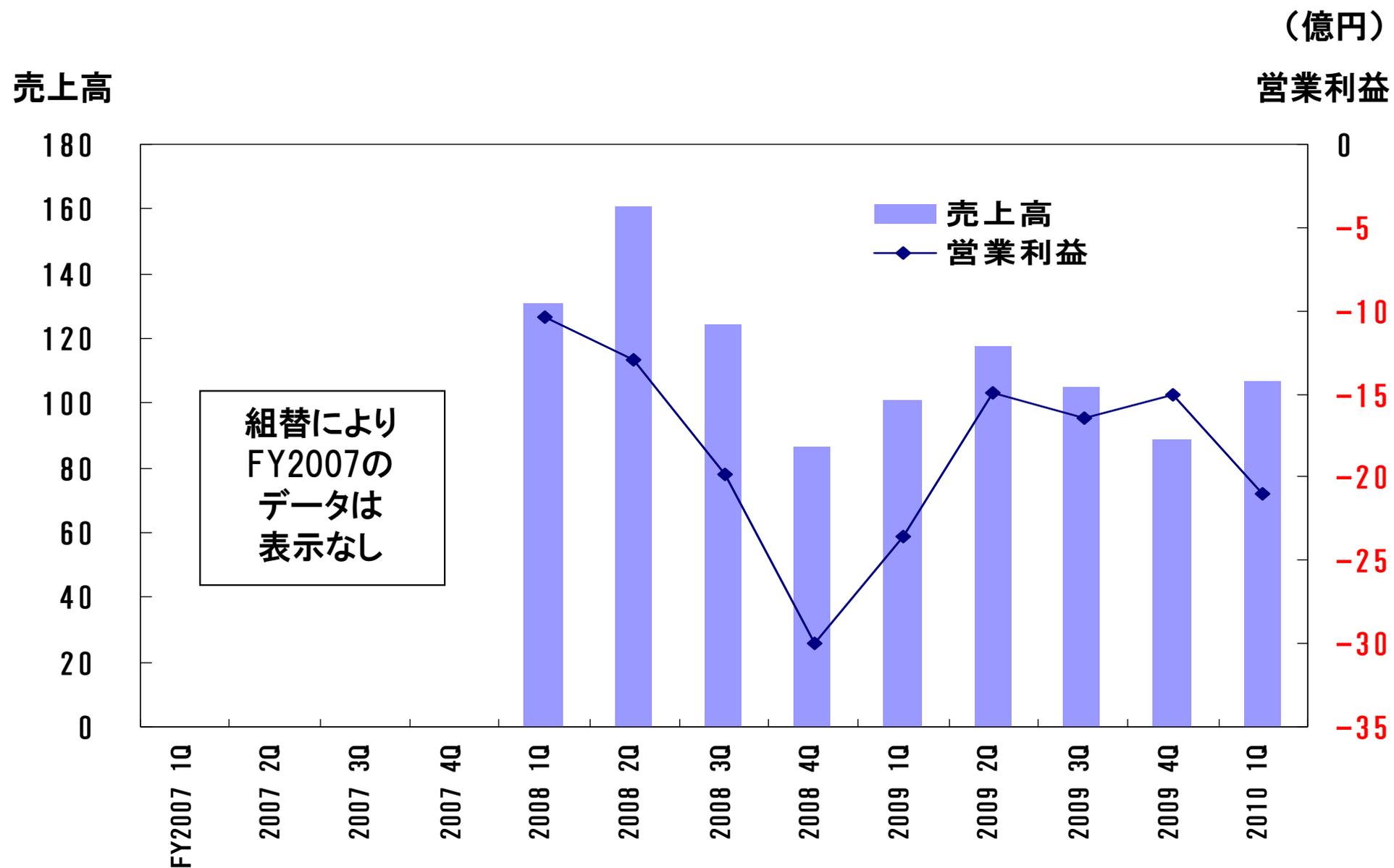
PCボード

その他事業 事業別売上高

- ▶バックライト事業は、前年同期並みに推移
- ▶マイクロデバイス事業は、カスタムICの需要が回復したことに加え、半導体生産受託も案件が増加するなど好調に推移

(億円)

その他売上高	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	前年同期比
バックライト事業(OPT)	80	82	△2.6%
マイクロデバイス事業(MD)	6	3	+110.4%
小計	86	85	+1.3%
環境事業・電子機器事業	21	16	+27.8%
合計	107	101	+5.5%



連結貸借対照表

- 資産の部の前期末からの減少は、売掛債権の減少(季節要因)や投資有価証券の減少等による
- 純資産の部の前期末からの減少は、円高による為替換算調整額の減少等による

連結B/S	2010年6月末	2010年3月末	2009年6月末 (参考)
資産の部	5,188	5,323	5,293
現預金	560	517	511
売上債権	1,132	1,237	978
在庫	803	777	793
繰延税金、その他流動資産	309	327	292
固定資産	1,193	1,230	1,326
投資その他資産	1,192	1,235	1,393
負債の部	2,196	2,251	2,288
短期借入金	400	369	368
長期借入金	9	13	212
支払い手形及び買掛金等	691	689	527
退職給付引当金	650	670	747
その他負債	446	510	434
純資産の部	2,992	3,071	3,005
資本金・その他剰余金等	4,099	4,034	3,959
その他包括利益(損失)累計額	△671	△526	△525
自己株式	△445	△445	△445
非支配持分	9	8	16
負債及び純資産合計	5,188	5,323	5,293

➤ 厳選した設備投資の実行によりフリーキャッシュフローは増加

連結CF	(億円)		
	2011/3期 1Q実績	2010/3期 1Q実績	2010/3期 実績(参考)
営業活動によるキャッシュフロー	104	90	428
投資活動によるキャッシュフロー	△47	△73	△186
FCF	57	17	242
財務活動によるキャッシュフロー	9	17	△204
換算レート変動の影響	△23	10	13
現金及び現金同等物の増減額	43	44	51
四半期末の現金残高	560	511	517
設備投資	51	68	195
減価償却費	59	74	270

※設備投資は、連結キャッシュフロー計算書の資本的支出を適用

エグゼクティブ・サマリー	P.4
2011年3月期第1四半期決算報告	P.6
2011年3月期見通し	P.28
中国の状況(IAB)	P.38
ご参考資料	P.43

重点施策

- 運営構造改革を加速させる
- 「強固な収益構造づくり」と「再成長へのギアチェンジ」に取り組む

外部環境

- 不透明感が残るため、第1四半期の状況が第2四半期以降も継続すると想定
- 為替・原材料については下記のように見通す

見通し前提

- 為替 : USD・・・85円、 EUR・・・110円
(第2四半期以降の為替レート前提)
- 原材料 : 銀・・・56,000円/kg、 銅・・・620円/kg
(第2四半期以降の原材料価格前提)

■ 為替レート1円変動による影響額

為替	売上	営業利益
USD	約20億円	約9億円
ユーロ	約7億円	約4億円

■ 銅価格100円/kgの変動による影響額

原材料	営業利益
銅	約7.5億円

■ 銀価格1,000円/kgの変動による影響額

原材料	営業利益
銀	約1億円

※上記はいずれも通期に対する影響額

工場自動化用 制御機器事業 (IAB)

▶半導体・電子部品・自動車等、製造業の設備投資は、第1四半期並みで推移

家電・通信用 電子部品事業 (EMC)

▶業務・民生用機器・車載部品業界を取り巻く環境は、第1四半期並みで推移

自動車用電子 部品事業 (AEC)

▶自動車業界を取り巻く環境は、第2四半期以降若干の減速を見込む

社会システム 事業 (SSB)

▶期初からの大きな変更は無いが、駅務機器の需要増を見込む

健康・医療機器 事業 (HCB)

▶期初からの変更無し
(国内や主要国では、個人消費の停滞が継続するが、新興国では、経済成長などにより健康機器の需要は拡大する見込み)

その他

▶期初からの変更無し
(環境対応需要(特にCO2削減)によるニーズ増加)

▶売上高は期初計画比約12%増加、営業利益は期初計画比倍増に上方修正

(億円)

全社PL	2011/3期 2Q累計見通し	2010/3期 2Q累計実績	前期比	2011/3期 2Q累計期初計画	期初 計画比
売上高	3,000	2,324	+29.1%	2,680	+11.9%
売上総利益	1,130	756	+49.5%	990	+14.1%
販管費	715	657	+8.8%	685	+4.4%
R&D費	195	176	+11.0%	195	0.0%
営業利益	220	△77	—	110	+100.0%
営業外費用	10	19	△48.2%	△5	—
税引前純利益	210	△96	—	115	+82.6%
第2四半期累計純利益	135	△69	—	70	+92.9%

第2四半期(累計期間)業績の修正内容(セグメント別)

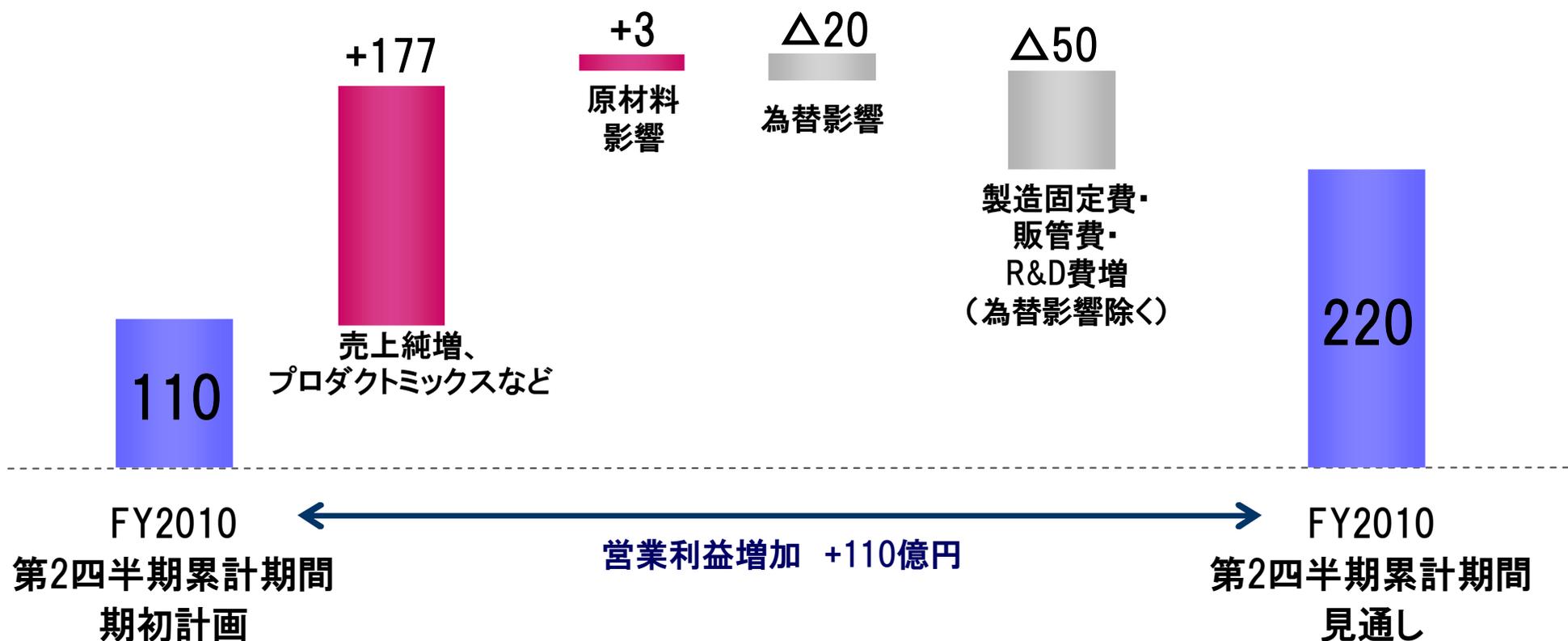
▶ 制御3事業(IAB・EMC・AEC)を中心とした第1四半期の回復を受けて、売上・利益共に
 期初計画比増加を見込む

セグメント別	売上高		営業利益		修正内容
	2011/3期 第2四半期 累計期間 見通し	2011/3期 第2四半期 累計期間 期初計画	2011/3期 第2四半期 累計期間 見通し	2011/3期 第2四半期 累計期間 期初計画	
IAB	1,385	1,200	215	136	売上:景気回復・中華圏の売上拡大 営業利益:売上増によるもの
EMC	405	366	60	30	売上:海外の売上回復 営業利益:売上増によるもの
AEC	420	384	20	10	売上:国内外の売上回復 営業利益:売上増によるもの
SSB	225	193	△30	△37	売上及び営業利益:駅務機器の売上増 及び前倒しによるもの
HCB	300	296	25	25	売上:ほぼ期初計画通り 営業利益:期初計画通り
その他	235	214	△35	△41	
消去調整他	30	27	△35	△13	
合計	3,000	2,680	220	110	

第2四半期(累計期間)営業利益差異分析(期初計画比)

➤ 為替のマイナス影響はあるものの大幅な売上増により営業利益は倍増の見込み

(億円)



➤売上高は期初計画比6%、営業利益は期初計画比約40%上方修正

全社PL	(億円)				
	2011/3期 通期見通し	2010/3期 通期実績	前期比	2011/3期 通期期初計画	期初 計画比
売上高	6,150	5,247	+17.2%	5,800	+6.0%
売上総利益	2,335	1,843	+26.7%	2,175	+7.4%
販管費	1,445	1,334	+8.3%	1,415	+2.1%
R&D費	430	378	+13.6%	430	0.0%
営業利益	460	131	+251.8%	330	+39.4%
営業外費用	15	29	△48.0%	0	—
税引前純利益	445	102	+336.5%	330	+34.8%
当期純利益	295	35	+738.5%	200	+47.5%
			前期差		期初計画差
USDレート (円)	87.0	92.9	△5.9	90.0	△3.0
EURレート (円)	112.1	130.3	△18.2	125.0	△12.9

通期業績の修正内容(セグメント別)

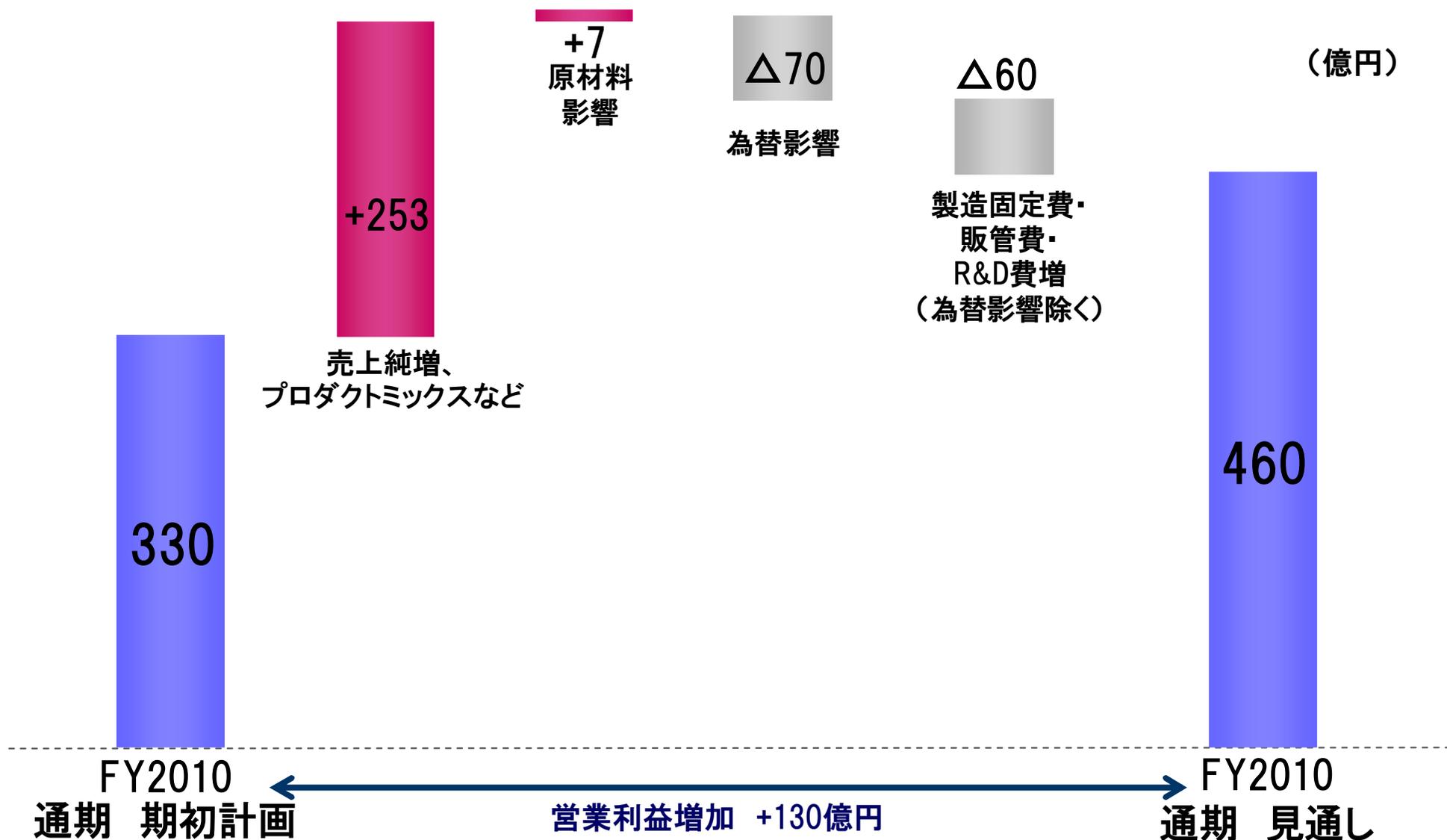
▶ 制御3事業(IAB・EMC・AEC)を中心とした第1四半期の回復を受けて、売上・利益共に
 期初計画比増加を見込む

(億円)

セグメント別	売上高		営業利益		修正内容
	2011/3期 通期見通し	2011/3期 通期 期初計画	2011/3期 通期見通し	2011/3期 通期 期初計画	
IAB	2,710	2,460	400	290	売上: 景気回復・中華圏の売上拡大 営業利益: 売上増によるもの
EMC	810	760	105	70	売上: 海外の売上回復 営業利益: 売上増によるもの
AEC	815	780	25	20	売上: 国内外の売上回復 営業利益: 売上増によるもの
SSB	655	640	20	20	売上: 駅務機器の需要増 営業利益: プロダクトミックスの影響あり
HCB	640	645	60	60	売上: ほぼ期初計画通り 営業利益: 期初計画通り
その他	460	460	△60	△60	
消去調整他	60	55	△90	△70	
合計	6,150	5,800	460	330	

通期営業利益差異分析(期初計画比)

➤ 為替のマイナス影響はあるものの売上増により営業利益は増加の見込み



(参考) 連結営業利益への経営指導料改訂の影響

➤2011/3期よりグループ運営の見直し実施により、セグメント別利益に変動あり

(億円)

セグメント別	2011/3期見通し		2010/3期 実績	(参考情報) 経営指導料等改定前	
	営業利益	前年同期比	営業利益	営業利益	前年同期比
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	400	+187.8%	139	432	+210.8%
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	105	+55.8%	67	117	+73.6%
自動車用電子部品事業 (AEC)	25	+44.4%	17	32	+84.9%
社会システム事業 (SSB)	20	△24.6%	27	37	+39.4%
健康・医療機器事業 (HCB)	60	△15.0%	71	70	△0.8%
その他	△60	—	△70	△53	—
消去調整他	△90	—	△120	△175	—
合計	460	+251.8%	131	460	+251.8%

※選択と集中を強化し、戦略的な資源配分を実行するために本社に資金を集中させる目的で、当期より子会社および事業部門との経営指導料等の改定を実施しています

エグゼクティブ・サマリー	P.4
2011年3月期第1四半期決算報告	P.5
2011年3月期見通し	P.28
中国の状況(IAB)	P.38
ご参考資料	P.43

- ▶中国では、2010年度は9%の実質GDP成長率を予測。今後、中期的な経済成長が期待され、オムロンの主力事業のIABでも成長が見込まれる。

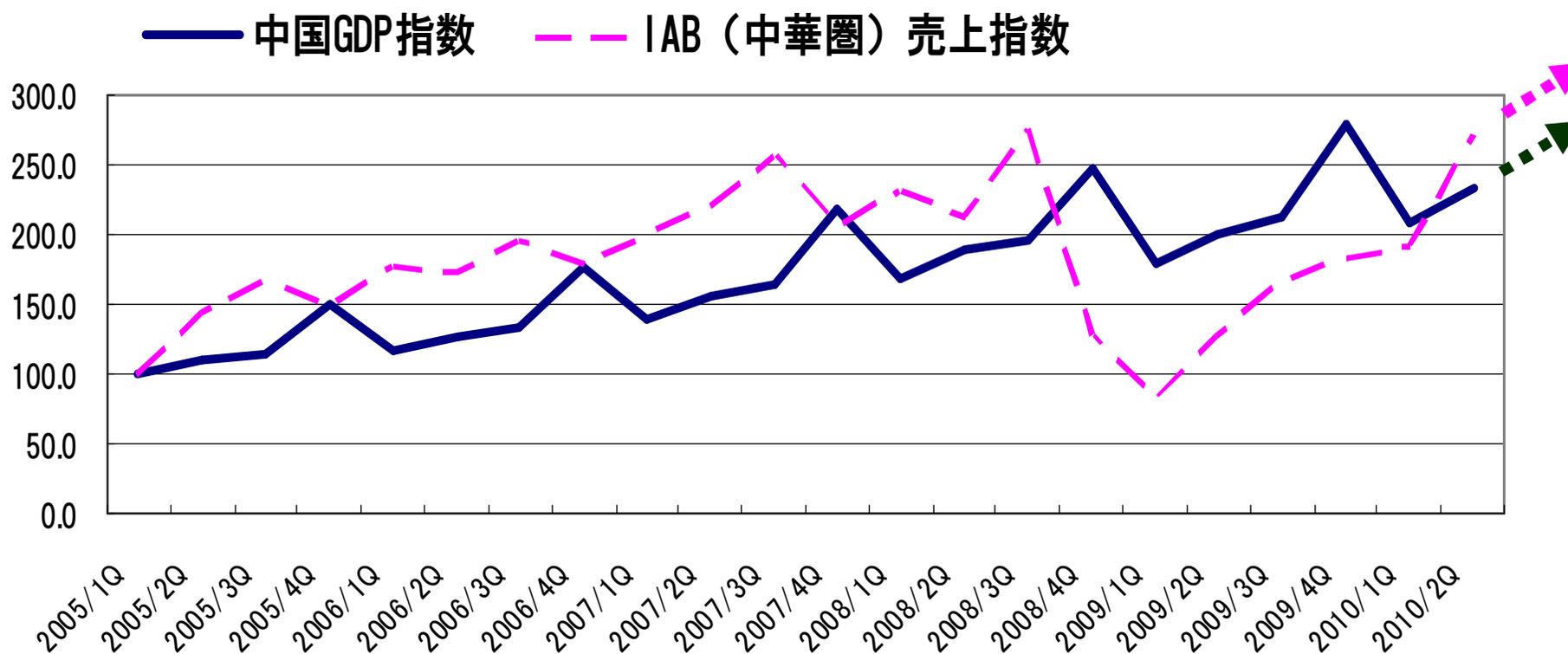
<中国でのFA市場拡大の背景>

中国内需成長継続（内陸部への産業シフト・インフラ投資）

先進国企業の中国への生産・購買シフト加速（特に日本・韓国・台湾）

**沿岸部労働力不足・人件費高騰・品質向上ニーズの高まりによる
中長期的な自動化投資加速**

➤ IAB中華圏の売上高は中国のGDP成長と連動しており、今後も中国のFA市場は成長が継続すると予測



* 2005年1Q=100

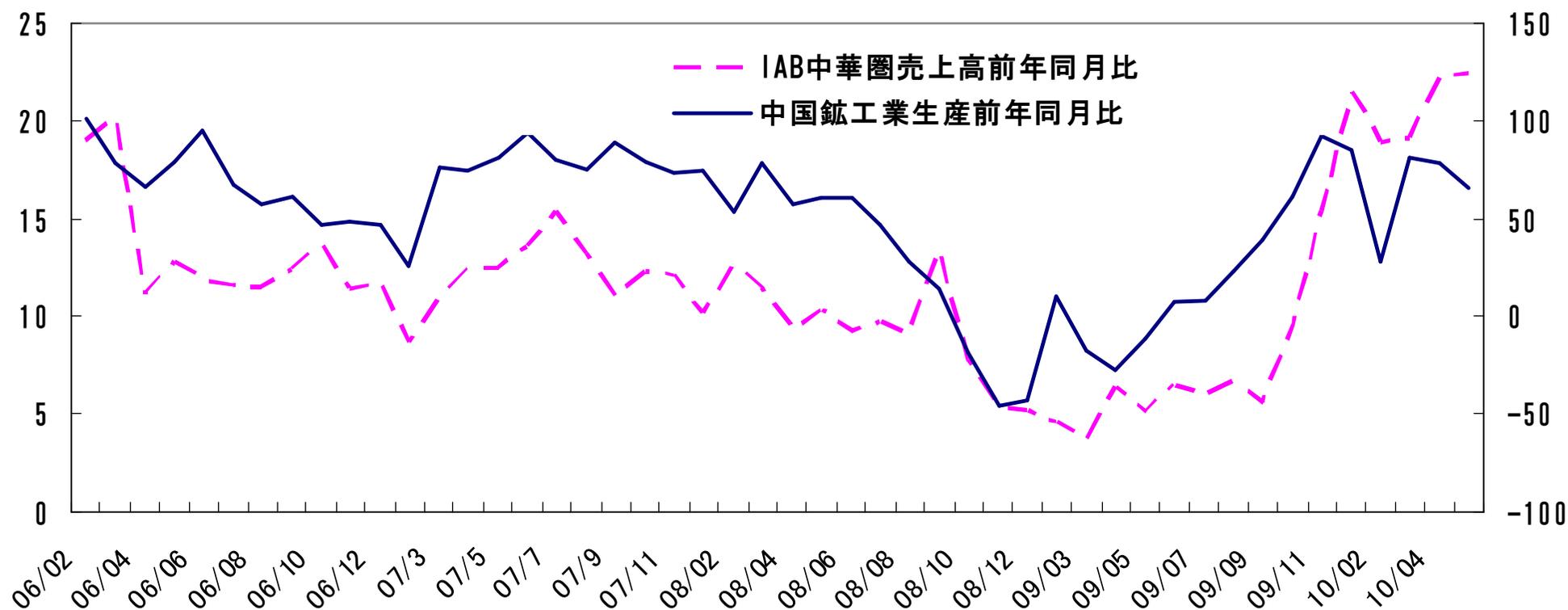
* 出典：中国人民共和国国家统计局データより算出

IABの中華圏売上高と中国鋳工業生産

➤ 現在、中華圏の自動化投資は進んでおり、今後IAB中華圏の売上高は鋳工業生産指数よりも高い伸びを示すと予測

中国鋳工業生産 (%)

IAB売上 (%)



* 出典：中国人民共和国国家統計局

➤中国での自動化投資の成長を上回る伸びを目指し、事業強化を図る

IABの中国での強化策

商品ラインの拡充

販売チャネルの強化

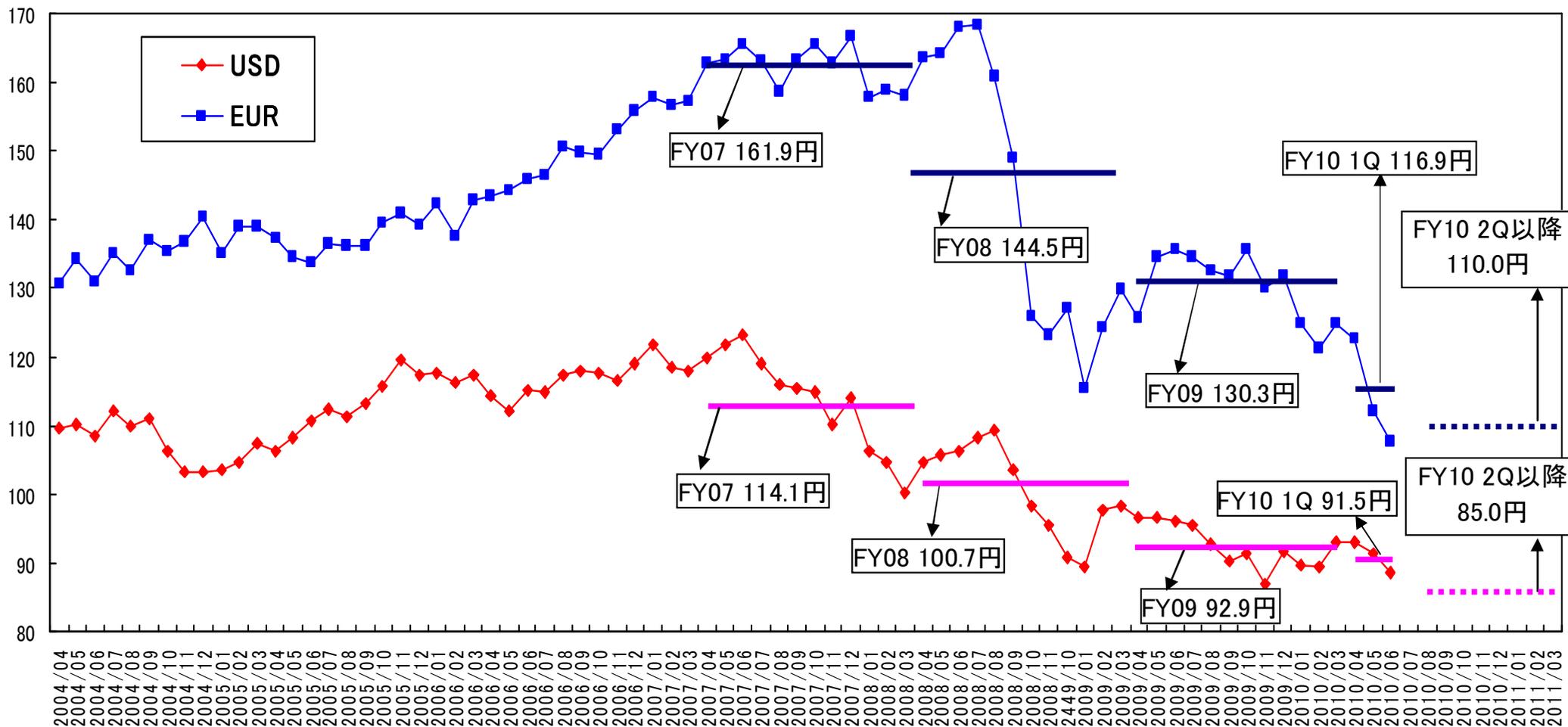
サービスサポートの強化

エグゼクティブ・サマリー	P.4
2011年3月期第1四半期決算報告	P.6
2011年3月期見通し	P.28
中国の状況(IAB)	P.38
ご参考資料	P.43

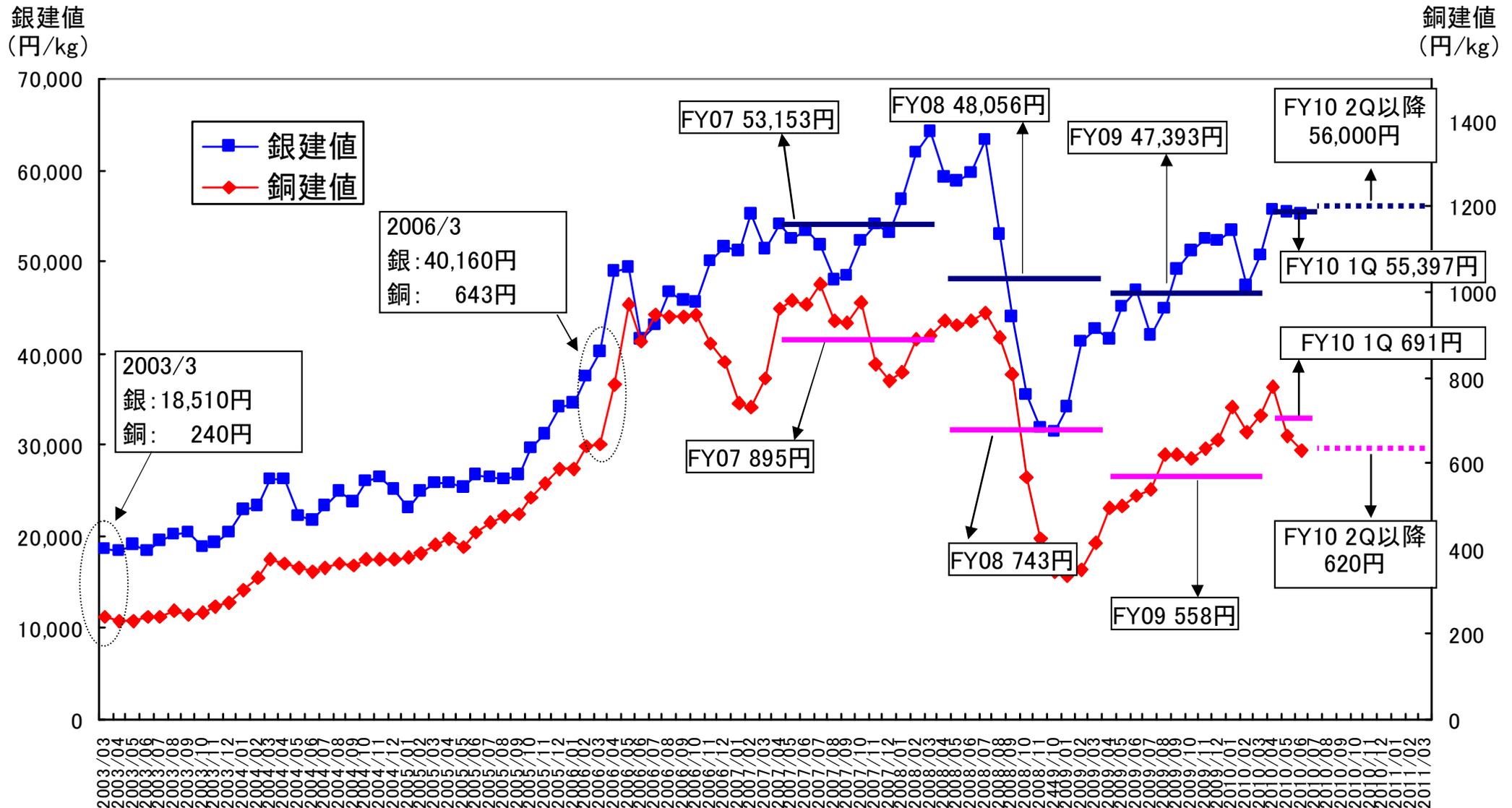
為替レートの推移(ドル、ユーロ)

➤ドル・ユーロとも2010年度は円高で推移

USD/EUR
(円)



➤ 2010年度の建値は、銀・銅ともに前年度比上昇



センシング & コントロール技術で 「安心をカタチに」



＜お問い合わせ＞

オムロン株式会社

IR企業情報室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp